

2019年
No.110

発行者

社会福祉法人 健康の森学園

発行責任者 施設長 山田浩久

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

<http://fukukenenmori.com>

すずらん



施設長 山田 浩久

令和元年度もはや後期を迎えました。前半を振り返ってみると、今年も自然災害が猛威を振るい、東日本では甚大な被害をもたらしました。被災された皆様にはお見舞いを申し上げます。新見地域におきましても、9月3日の記録的豪雨により、多くの家屋が被災しました。

法人が運営するグループホームでは、隣接する河川の増水、停電が発生し近隣の避難場所へ一時避難しました。防災マニュアル等は作成し、日頃より災害を想定した訓練は実施しておりましたが、災害の現場では、多くの課題も見えてきました。災害時において利用者の方が不安なく、安全を確保できるような体制を早急に整備していきたいと思っています。

さて、学園では朝夕の冷え込みもはじまり、正面玄関の檜の木も鮮やかな赤色に紅葉しています。10月26日には収穫祭と作品展が開催されました。当日は、天候にも恵まれ関係諸団体、地域の方々のご参加をいただき、盛大に開催することができました。高等部の和太鼓のオープニングで開会し、各活動班では生産物を使って模擬店、野菜・卵・シイタケなどの生産物の販売をおこないました。各販売テントでは、長蛇の列となりましたが、来園された皆様は、両手いっぱい買い物をしていただき、ありがとうございました。学園生も販売テントでは大きな声で接客もでき、来園された皆様との交流の深まった一日になったと思います。

学園では、地域の方々からの御理解と、御協力をいただきながら障害者の自立と地域移行をすすめてまいりました。来年度は、開園30年を迎え、これまでご協力いただいた地域の皆様、関係機関に感謝するとともに、さらに地域に根差した学園づくりを進めていきたいと思っています。

4/3

入所式

今年度は5名が森の仲間に加わり、保護者の方が見守られる中、新たな出発となりました。

在所生からは、「はじめは今の生活と違い、戸惑うことが多いかもしれませんが、私たちが職員の方々に聞いてください。そして地域で社会に出るといふ大きな目標に向かって一緒に頑張りますよう」と歓迎の言葉がありました。

新入所生からは「できることを少しずつ増やし、挑戦していきたいです。皆さんと一緒に仲良く元気に頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします」と挨拶があり、私たち職員も新しい仲間と一緒に一人一人の目標に向かって支援し、安全面そして健康面に留意し全力で支えていきます。新入所生の皆さん、宜しくお願いします。



5/21

接遇セミナー

就労移行支援事業（農産班）の利用者の方を中心に各事業から利用者が参加して行われました。このセミナーは年3回実施しており、社会人としての「挨拶の仕方」「身だしなみ」「正しい姿勢」と基本的なところから「目上の方への封書の届け方」も勉強しました。利用者の皆さんは緊張しながらも熱心に取り組んでいました。



5/24

田植え祭り

今年も学園の園生と保護者、地域住民の方や学園の支援団体等約350名で田植えをしました。天気も良く暑いぐらいでしたが約1

時間半で2枚の水田を植え終わることができました。また、田植え後は食堂にて昼食を食べながら親睦をはかりました。



6/1.2

農福マルシェ

JR岡山駅東口駅前広場を会場に、県内の福祉事業所・特別支援学校で生産された農産物や農産加工品の販売を通して、障害のある人の社会参加を促進するイベントが開催されました。利用者2名と職員2名が参加して新鮮な野菜・生椎茸・卵や工芸品を販売しました。サプライズで伊原木県知事のご来店をいただき、販売をしていただいた利用者の方はびっくりしていました。当日、ボランティアをしていただいた学生さん・関係者の方

には大変お世話になり有難うございました。

6/13

椎茸品評会

「第52回全農乾椎茸品評会」にて上どんこの部「全農会長賞」を受賞することができました。暖冬の影響により例年の6割程度しか収穫できませんでしたが、利用者の皆さんは今年も受賞できてとても喜んでいました。



6/21 保護者作業日

保護者25名の方が来園され、各班に分かれて作業をしていただきました。畜産班（自立訓練事業）では委託作業と梅の収穫をしていただきました。利用者・職員と会話をしながら楽しく作業をしました。次回は施設内の掃除を予定しております。



7/1 りんどう初出荷



農産班では昨年5月に植え付けをした「りんどう」の出荷が始まりました。約100本を週に3回収穫して出荷し、選花された後「大阪」「広島」「岡山」の市場へ出されていきます。今後は白色の「り

んどう」も咲き始めているのでたくさん出荷ができるよう管理をきちんとしていきます。

7/6 フットベース

第19回岡山県障害者スポーツ大会（フットベースボール競技）があり「健森やまびこクラブ」のチーム名で参加しました。岡山ドームで投げて、走ってと元気に試合をして、第3位に。利用者の皆さんは「来年はもっと練習して優勝を！」と意気込んでいました。



7/20 第三者委員会

令和元年度最初の第三者委員会を開き、4名の皆さんに出席頂き苦情解決状況及びサービスイ

報告、職員の行動規範チェックの結果等を報告しました。委員の方からのアドバイスをもとに、今後もより良いサービスの提供を目指してまいります。

9/14 運動会



9/26 防犯勉強会

昨年は雨天のため運動機能訓練棟で行いましたが、今年は晴天で最高の運動会日和でした。沢山の保護者の方や地域の方々が見に来ていただいている中で利用者の皆さんは一生懸命に演技をしていました。

新見警察署より講師をお迎えし、「地域で安心して安全に暮らすために」を演題として勉強しました。また、詐欺についてのクイズを交えながら「困ったときは一人で悩まず、また一人で判断しないように」「知らない人からの連絡には絶対にアクセスしないように」など具体的にわかりやすく説明してくださいました。



10/5

サークル活動

手芸・芸術サークルでは「おもちゃコンサルタント」、「木育インストラクター」の稲岡さんと吉永さん、「工房BANANATREE」の橋本さんをお招きし、木端材を使って作品を作りました。木の香りやぬくもりを感じながら個性のある作品ができあがりました。また、木のおもちゃコーナーでは、利用者の皆さんが木の質感や音などを楽しみながら遊んでいました。



10/7

さつまいも収穫



農産班では秋の味覚サツマイモの収穫をしています。今年も美味しそうなサツマイモが沢山できましました。イモを丁寧に掘り出し、土を落としてハウスの中に並べて乾かします。森のおみせや収穫祭で販売する予定です。

新入所生の声

黒岡 葵さん

健康の森の生活が始まって私が感じたことの一つ目は、大自然の中で利用者さんが元気に働くことが出来ていることです。二つ目は、何か困ったことがあった時やトラブルになったしまった時に相談をすると、どの先生方も親切になり優しく、ときには厳しくご指導くださるのですごく助かっています。

綱島 大輝さん

入所して半年が過ぎ、先輩たちとも仲良く仕事などを頑張っています。「自分の任されたことは最後までやり遂げよう」を目標に何事にも取り組んでいます。一般企業やA型事業所に行けるように頑張りたいです。作業と休憩のけじめもすっかりつけて、来年には先輩が入ってくるので先輩らしくすることも頑張りたいです。

就労定着支援事業をスタートしました。

本年度より、就労定着支援事業を開始しました。支援内容は主に、①一般企業等へ就労した障害者との月一回以上の面談を通じて、日常生活や社会生活での課題を把握すること、②企業や関係機関等との連絡調整やそれにともなう課題解決に向けて必要となる支援を行うことです。10月からは、新見市内の企業に就職した6名の方がこの支援事業のサービスを受けることになりました。利用者が可能な限り長く企業で働き続けられるように、サービスの充実を図ってまいります。

サービス向上委員会より

平成30年度 苦情受付内容

◎職員に対するもの 1件

・言葉の内容についての相談

◎他の利用者に対するもの…1件

・言動を改めてほしい

◎相談・要望……………2件

・休日の餌やり当番に時間がかかるので、人数を増やしてほしい。

・パソコンサークルを復活してほしい。

編集後記

林産班の施設外就労支援に同行しました。岡山JA畜産株式会社との業務請負契約により、5名の利用者が4つの鶏舎を分担し、2万5千個/日以上を採卵します。6年目となった利用者の皆さんの働く姿勢は、地道な作業の繰り返しをしっかりとルーティン化し、掃除や翌日の準備に余念がありません。地域の企業で健康の森学園の顔として働く利用者の皆さんをとても誇らしく感じました。



◀ホームページアドレス
<http://fukukenmori.com>